FAX誤送信防止シリーズ

（ダブルダイヤル）

パラメータ設定ツール
取扱説明書

Ver 2.00_2

目 次

はじめに

この度は、SeCURITY FAX Double Dial（以降本体装置と記述）をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本書では、付属のパラメータ設定ツール（以降本アプリケーションと記述）の利用方法を解説しています。
本体装置の取扱については、別紙のダブルダイヤル取扱説明書を参照してください。

本アプリケーションは、PCにインストールし本体装置の動作設定（パラメータ情報）や番号情報（番号テーブル情報）の登録や編集を行うための専用アプリケーションです。

本アプリケーションでは、ダブルダイヤルシリーズに対してパラメータ設定や、番号テーブル書き換えなどの操作を行うことができます。
各ダブルダイヤルシリーズでは、パラメータ数及び番号テーブル数が異なっています。

1. ソフトウェアのインストール

①付属のソフトウェアインストールCDをインストールするPCのCDドライブにセットします。

②自動的にセットアップが起動します。

（自動的にセットアップが起動しない場合は、CDドライブ内の Setup.exe を実行します。）

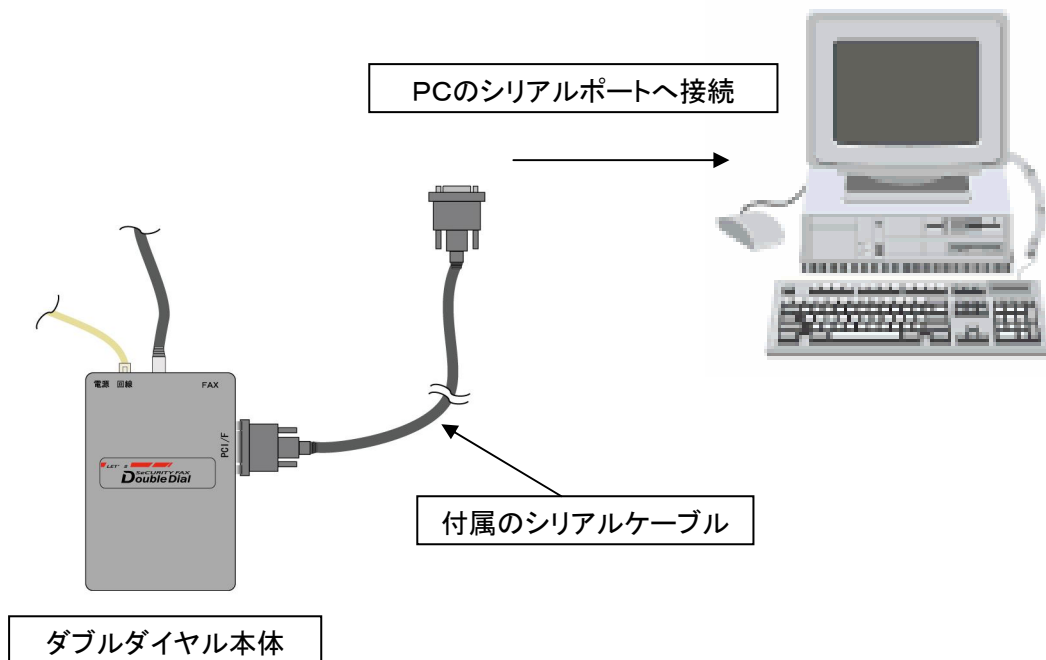
③セットアップが起動します。[次へ(N)] を押してください。

④インストールを行います。[インストール(I)]を押してください。

⑤インストール中です。処理が終了するまでお待ちください。

⑥インストールが完了しました。[完了(F)]を押してください。

※古いバージョンの「パラメータ設定ツール」がインストールされている場合は、古いバージョンで利用していたデータを引き継いで利用することができます。

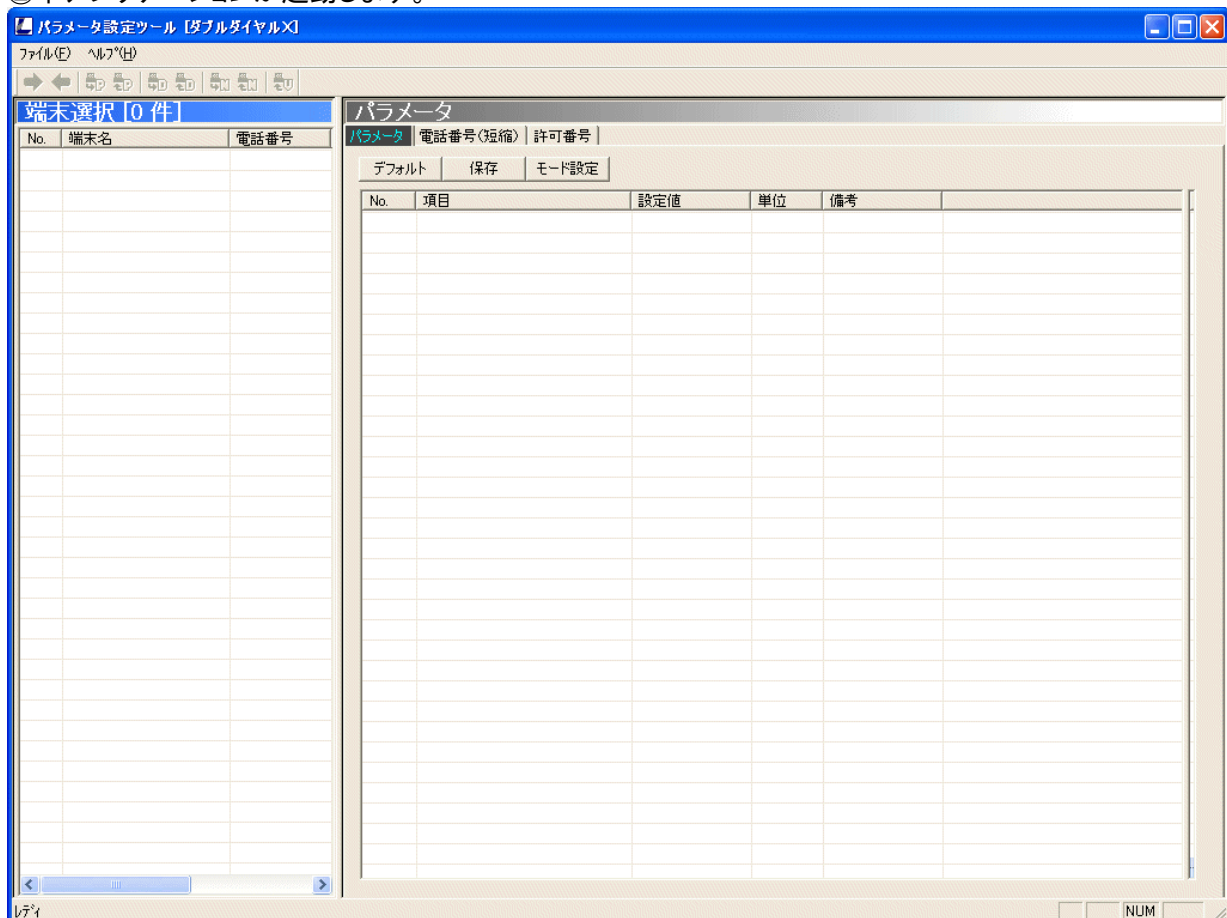
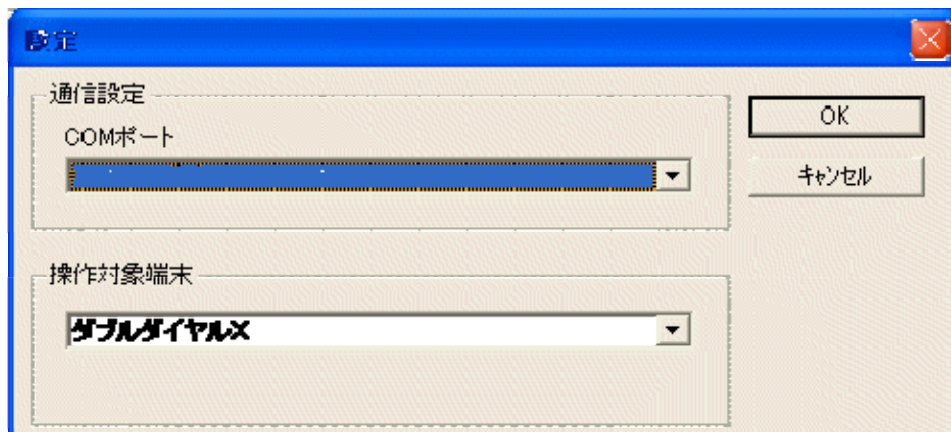
2. PCとの接続

・付属のシリアルケーブルをダブルダイヤル操作部とPCにそれぞれ接続します。

・通常運用時は、PCと接続しておく必要がありません。

・本体装置の誤動作を防ぐためにも、本体装置とPCとの接続は、データの読み書きを行う時のみ接続するようにしてください。

3. アプリケーションの起動

①本アプリケーションを起動するときは、プログラムメニューの「Let's Corporation」→「パラメータ設定ツール」→「パラメータ設定ツール」をクリックします。

②本アプリケーションが起動します。

4. 設定

①通信設定

PCとダブルダイヤルの接続ポートを設定します。

COM ポート：RS-232C の通信ポートを指定します。（PCで有効なCOMポートのみ表示されます。）

②操作対象端末

「ダブルダイヤルX」を選択していください。

「ダブルダイヤルX」以外の項目は、下位互換用に用意されています。

「ダブルダイヤルX」以外を選択した場合、本体装置との通信が行えなくなります。

[OK]ボタンを押下すると、設定内容を保存して、設定画面を終了します。

［キャンセル］ボタンを押下すると、設定内容を保存せずに、設定画面を終了します。

５．画面説明

５．１　メニュー項目

ﾌｧｲﾙ(F)　ﾍﾙﾌﾟ(H)

本アプリケーションを操作するメニュー項目です。

メニュー項目		内容
ファイル	設定	設定画面を表示します。
	終了	本アプリケーションを終了します。
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

５．２　ツールバー

本体装置への情報の書き込みや読み込みを行うためのボタンです。

端末情報画面で対象の項目を選択している時に有効になります。

全ての情報を本体装置に書き込みます。

全ての情報を本体装置から読み込みます。

パラメータ情報を本体装置に書き込みます。

パラメータ情報を本体装置から読み込みます。

電話番号（短縮）を本体装置に書き込みます。

電話番号（短縮）を本体装置から読み込みます。

許可番号を本体装置に書き込みます。

許可番号を本体装置から読み込みます。

本体装置のバージョン情報を読み込みます。

6. 端末情報

6. 1　端末情報画面

端末選択 [1 件]

No.	端末名	電話番号
◯1	端末1	0522016230

端末情報の追加、編集、削除を行います。

複数の項目を管理することができます。1台のPCで複数のダブルダイヤルの情報を一元管理することが可能になっています。

6. 2　表示項目

表示項目	内容
No.	表示番号です。 ○（白）は、通常の状態です。 ●（赤）は、電話番号に重複がある状態です。
端末名	端末情報の名称を表示します。
電話番号	端末情報の電話番号を表示します。
登録日	端末情報の最終更新日を表示します。
備考	備考情報を表示します。

6. 3　フローティングメニュー

端末情報画面内のリスト表示部にてマウスの右ボタンをクリックすることで、メニューを表示します。

表示されるメニューでは、情報の追加、登録、削除、コピー、貼り付けを行うことができます。

フローティングメニューは項目の選択状態、コピーの有無によって表示状態が異なります。

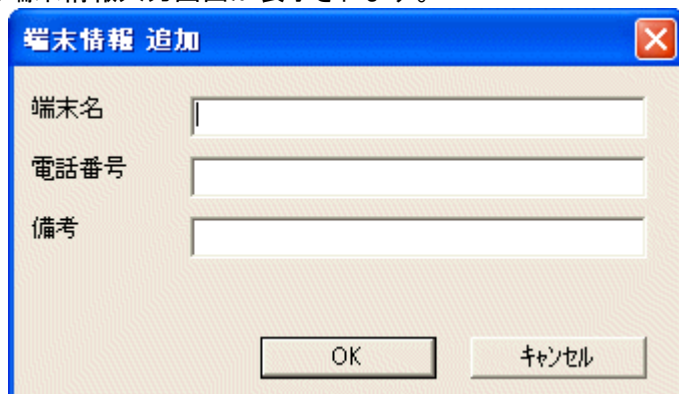
追加
編集
削除
コピー
貼り付け

メニュー	内容
追加	新しい端末情報を追加します。
編集	既に登録してある端末情報を編集します。
削除	登録してある端末情報を削除します。
コピー	登録してある端末情報のコピーを行います。
貼り付け	コピーした端末情報を貼り付けます。

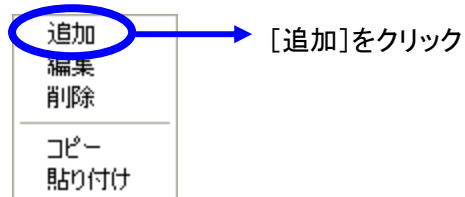
６．４　端末情報の追加、編集、削除

６．４．１　追加する

新しい本体装置の設定を管理するための項目を追加するには、下記のように操作します。

端末情報を追加するには、２通りの方法があります。

６．４．１．１　メニューから追加する

①端末情報画面内のリスト表示部にてマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

②フローティングメニューの[追加]を選択します。

③端末情報入力画面が表示されます。

④各項目を入力します。端末名と電話番号は必須項目です。

端末名は、全角文字20字まで入力できます。

電話番号は、半角数字32文字まで入力できます。

備考は、全角文字25字まで入力できます。

⑤[OK]ボタンを押下すると、入力内容を保存し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、追加は行われません。

６．４．１．２　マウス操作で追加する

①端末情報画面内のリスト表示部にて項目が**選択されていない状態**でマウスの左ボタンをダブルクリックします。

②端末情報入力画面が表示されます。

③各項目を入力します。　※端末名と電話番号は必須項目です。

④[OK]ボタンを押下すると、入力内容を保存し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、追加は行われません。

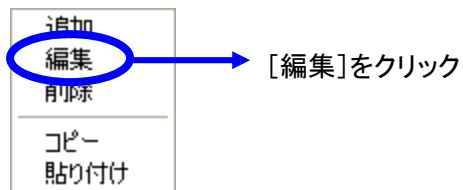
6．4．2　編集する

既に登録してある項目を編集するには、下記のように操作します。

端末情報を編集するには、2通りの方法があります。

6．4．2．1　メニューから編集する

①端末情報画面内のリスト表示部にて**編集する項目を選択した状態**でマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

②フローティングメニューの[編集]を選択します。

③端末情報編集画面が表示されます。

各項目には、選択した項目の情報が表示されています。

④各項目を編集します。

⑤[OK]ボタンを押下すると、編集内容を保存し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、編集結果は反映されません。

6．4．2．2　マウス操作で編集する

①端末情報画面内のリスト表示部にて**編集する項目**をマウスの左ボタンでダブルクリックします。

②端末情報編集画面が表示されます

③各項目を編集します。

④[OK]ボタンを押下すると、編集内容を保存し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、編集結果は反映されません。

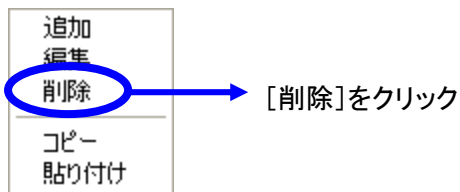
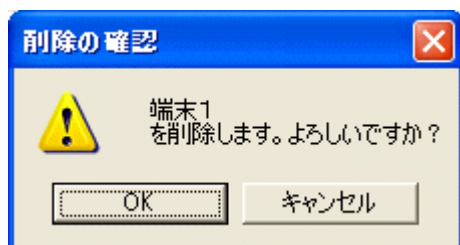
6．4．3　削除する

既に登録してある項目を削除するには、下記のように操作します。

端末情報を削除するには、2通りの方法があります。

6．4．3．1　メニューから削除する

①端末情報画面内のリスト表示部にて**削除する項目を選択した状態**でマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

②フローティングメニューの[削除]を選択します。

③削除確認画面が表示されます。

④[OK]ボタンを押下すると、項目を削除し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、項目は削除されません。

6．4．3．2　キーボードの[DEL]キーで削除する

①端末情報画面内のリスト表示部にて**削除する項目**をマウスで選択します。

②キーボードの[DEL]キーを押下します。

③削除確認画面が表示されます。

④[OK]ボタンを押下すると、項目を削除し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、項目は削除されません。

6．5　端末情報のコピーと貼り付け

端末情報をコピーして貼り付けることができます。

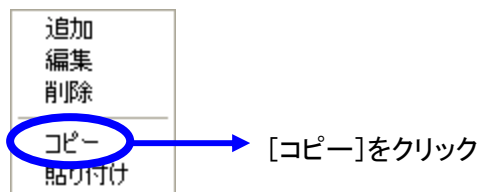
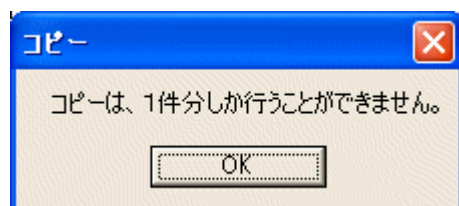
端末情報に付随する情報（パラメータ、電話番号情報、許可番号情報）もコピーされます。

貼り付けを既に登録してある端末情報に行うと、**全ての情報が上書き**されます。

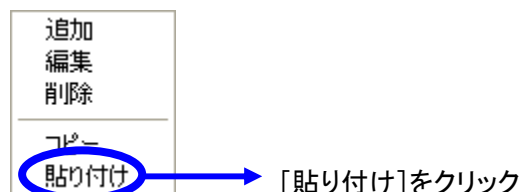
コピー及び貼り付けは、1件ずつで行います。複数のコピーは行えません。

6．5．1　コピー

①端末情報画面内のリスト表示部にて**コピーする項目を選択した状態**でマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

②フローティングメニューの[コピー]を選択します。

2件以上を選択してコピーを行うとエラーメッセージが表示されます。

6．5．2　貼り付け

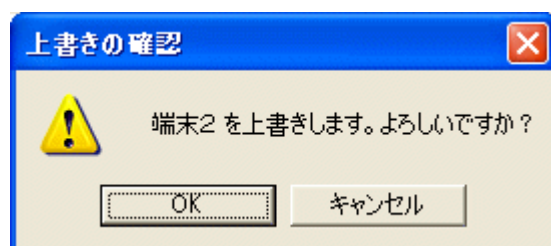
①端末情報画面内のリスト表示部にて**貼り付ける位置を選択した状態**でマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

②フローティングメニューの[貼り付け]を選択します。

貼り付ける位置に項目がない場合は、新規に項目が登録されます。

No.	端末名	電話番号
1	端末1	0522016230
2	端末2	0522016231
3	コピー 端末1	0522016230

すでに情報が登録されているところを選択すると、上書き確認画面が表示されます。

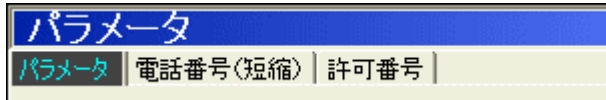
③[OK]ボタンを押下すると、上書きコピーを行います。

[キャンセル]ボタンを押下すると、貼り付けは行われません。

No.	端末名	電話番号
1	端末1	0522016230
2	コピー 端末1	0522016230

7. パラメータ情報

パラメータ情報では、本体装置を正しく動作せるための設定を行います。

7. 1　パラメータ情報

パラメータ
パラメータ　電話番号(短縮)　許可番号

パラメータ情報を表示するには、[パラメータ]タブをクリックします。

端末選択画面で選択された端末情報に対応したパラメータ情報を表示します。

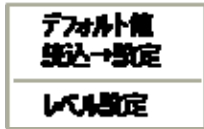
端末選択画面で端末が選択されていない場合、何も表示されません。

パラメータを変更する場合は、注意が必要です。

安易に設定値を変更すると本体装置が正しく動作しなくなる場合があります。

パラメータを変更した後は、設定の保存と、本体装置への書き込みを行う必要があります。

本体装置への書き込みを行わないと、本体装置側に変更内容が反映されません。

7. 2　表示項目

表示項目	内容
No.	表示番号です。 ○(白)は、通常の状態です。 ●(緑)は、編集されていて保存されていない状態です。
項目	パラメータ名を表示します。
設定値	PCに保存されている値を表示します。
単位	パラメータの単位を表示します。
備考	備考情報を表示します。

7. 3　フローティングメニュー

パラメータのリスト表示部にて、マウスの右ボタンをクリックするとメニューを表示します。

表示されるメニューでは、パラメータ情報のデフォルト値の設定、読み込み値のコピー、動作モードの設定の各操作を行うことができます。

フローティングメニューは項目の選択状態によって表示状態が異なります。

デフォルト値
読込→設定
レベル設定

メニュー	内容
デフォルト値	デフォルト値を設定します。
読込→設定	本体装置から読み込んだ値を保存します。
レベル設定	セキュリティーレベル設定画面を表示します。

７．４　パラメータ項目

No.	項目	初期値	備考
1	ダブルダイヤル機能	ON	設定変更できません。
2	短縮番号機能	OFF	利用する：ON，利用しない：OFF 短縮番号機能を利用するか否かを設定します。 ONの場合、装置内に登録されている番号テーブルの短縮番号が利用できます。また、操作部の短縮ボタンも有効になります。
3	発信許可機能	OFF	利用する：ON，利用しない：OFF 発信許可機能を利用するか否かを設定します。 ONの場合、接続ファクシミリからダイヤルされた番号を装置内に登録されている番号テーブルと照合し、合致した場合のみ発信を許可します。 合致しない場合、警告音を発しFAXの送信を中止します。
4	登録番号発信スルー機能	OFF	利用する：ON，利用しない：OFF 番号テーブルに登録されている箇所へのFAX送信を行う場合には、本体装置での入力（ダブルダイヤル）を行わなくても発信が行える機能を利用するか否かを設定します。
5	DT検出機能	ON	利用する：ON，利用しない：OFF FAX送信時に接続されている局線側のダイヤルトーン（DT）検出を行うか否かを設定します。 ONの場合、FAX送信時にDTが検出できないときは、警告音を発しFAXの送信を中止します。
6	第2DT検出機能	OFF	設定変更できません。
7	DT詳細検出機能	OFF	利用する：ON，利用しない：OFF FAX送信時に接続されている局線側のダイヤルトーン（DT）の調査を詳しく行います。 ONにした場合、FAX送信が正しく行えなくなる場合があります。
8	FAX再発呼機能	ON	利用する：ON，利用しない：OFF 接続ファクシミリの再送を許可するか否かを設定します。 ONにした場合、初回の送信時には、ダブルダイヤル照合を行いますが、初回の送信が失敗した際の再送時に、本体装置でのダブルダイヤル照合を省略してFAX送信を行うことができます。 OFFに設定する場合は、ファクシミリの再送機能は利用できません。必ず送信に失敗します。
9	発信ダイヤルチェック機能	ON	設定変更できません。
10	1300Hz検出機能	OFF	設定変更できません。
11	カットスルー機能	OFF	利用する：ON，利用しない：OFF カットスルー機能を利用するか否かを設定します。 ONの場合、送信先FAX番号をダイヤルするときに、カットスルー番号を付加してダイヤルすることで、ダブルダイヤル照合を行わずにFAX送信を行うことができます。
12	カットスルー特番	0000	0000～9999で設定します。 カットスルーに使用する特番を4桁で設定します。
13	オンフック時間	2	1～99で設定します。 接続されているファクシミリのオンフックを確定する時間を100ミリ秒単位で設定します。
14	オフフック時間	1	1～99で設定します。 接続されているファクシミリのオフフックを確定する時間を100ミリ秒単位で設定します。

15	ダイヤル確定時間	35	1～99で設定します。 本体装置が、ダイヤルを確定するまでの時間を100ミリ秒単位で設定します。 ダイヤルとダイヤルの間隔が設定時間(デフォルト:3．5秒)が経過すると、ダイヤル受付を終了します。
16	1300Hz検出時間	5	設定変更できません。
17	操作部入力待ち時間	30	設定変更できません。
18	メンテナンス応答ベル回数	30	1～60で設定します。 回線からのリモート着信するための手順の呼び出し信号（ベル）の回数を設定します。
19	メンテナンス応答呼び回数	3	1～10で設定します。 回線からのリモート着信するための手順の呼び出し回数を設定します。
20	FAXダイヤル待ち時間	0	0～99で設定します。 本体装置の操作部でダブルダイヤル入力完了後、ファクシミリがダイヤルを開始するまでの時間を秒単位で設定します。 0を設定した場合は、ファクシミリからのダイヤルを待ち続けます。 1～99を設定した場合は、設定秒数間ファクシミリのダイヤルが確認できないときに本体装置は、待機状態に戻ります。 待機状態に戻った直後に、ファクシミリのダイヤルを検出しても、番号照合不一致として、警告音を発しFAX送信が中止されます。

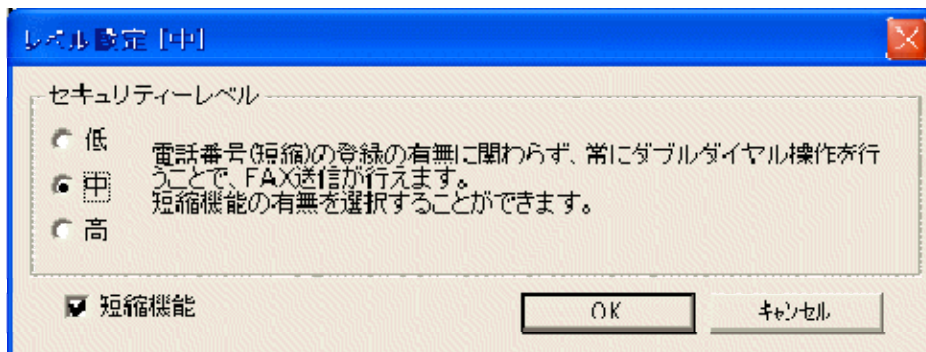
7．5 メニューボタン

デフォルト　保存　レベル設定

以下の操作を行う場合に利用します。

項目	内容
デフォルト	選択されている項目をデフォルト値に設定します。 項目が選択されていないときは、何も動作しません。
保存	項目を保存します。
レベル設定	レベル設定画面を表示します。

7．6 レベル設定

レベル設定画面では、本体装置のセキュリティーレベルを選択することができます。

No.	セキュリティーレベル	内容
1	低	セキュリティーレベルを「低」に設定します。 電話番号(短縮)の登録の有無に関わらず、FAX送信が行えます。 番号登録がある場合：ダブルダイヤル操作なしでFAX送信が行えます。 番号登録がない場合：ダブルダイヤル操作にてFAX送信が行えます。 （ダブルダイヤル機能、短縮機能、発信許可機能、登録番号発信スルー機能がONに設定されます。）
2	中	セキュリティーレベルを「中」に設定します。 電話番号(短縮)の登録の有無に関わらず、常にダブルダイヤル操作を行うことで、FAX送信が行えます。 短縮機能の有無を選択することができます。 （ダブルダイヤル機能がONに設定されます。）
3	高	セキュリティーレベルを「高」に設定します。 電話番号(短縮)が登録されていて、且つ常にダブルダイヤル操作を行うことで、FAX送信を行うことができます。 （ダブルダイヤル機能、短縮機能、発信許可機能がONに設定されます。）
4	短縮機能	セキュリティーレベルが「中」の時のみ、短縮機能の有無を選択することができます。 チェックを行うと、短縮機能が有効になります。

7．7　パラメータ

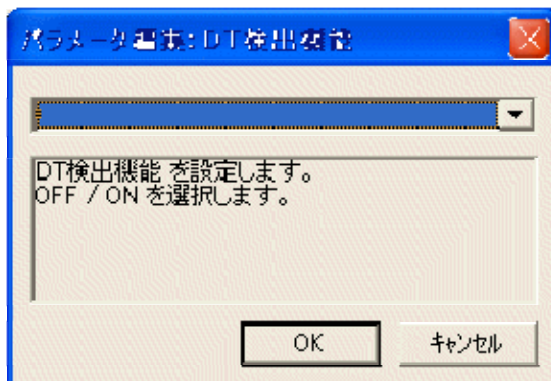
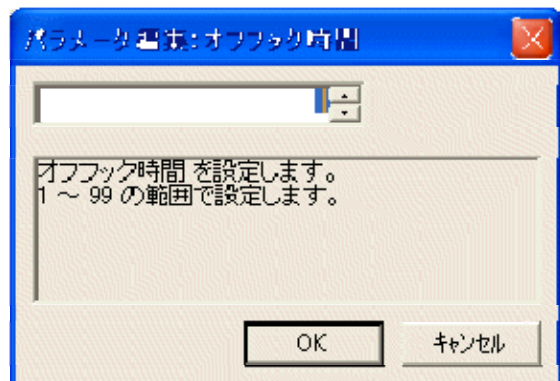
7．7．1　設定値の変更

パラメータ情報の編集を行った後は、必ず保存ボタンをクリックして編集内容を保存してください。

●（グレー）表示の項目は変更することができません。

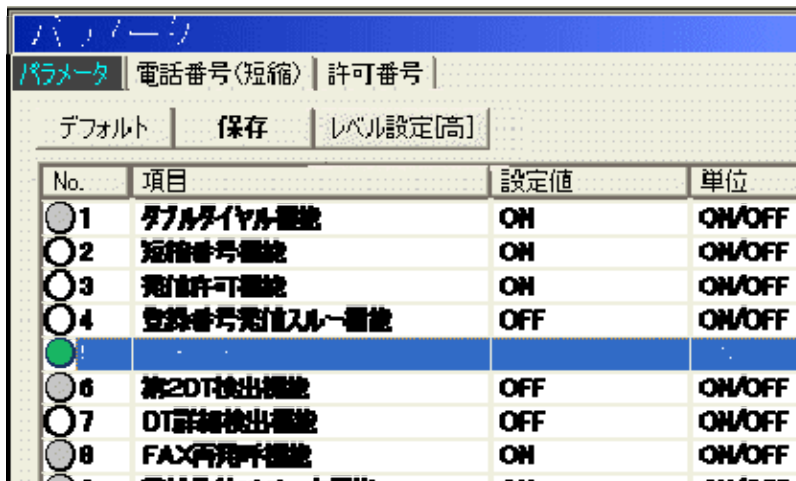
①設定を変更したい項目をマウスで選択し、マウスの左ボタンをダブルクリックします。

②パラメータ編集画面が表示されます。

設定項目によって表示内容が変わります。

ON／OFFを設定する画面　　　　　　　　数値を設定する画面

③値を変更します。

④[OK]ボタンを押下すると、編集内容を保存し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、編集結果は反映されません。

⑤パラメータの値を変更すると、●（緑）に表示が変わり、「保存」ボタンが強調表示されます。ます。

⑥「保存」ボタンを押下します。

7．7．2　変更できない項目

パラメータ情報で●（グレー）表示の項目は、設定を変更することができません。

また、「短縮番号機能」、「発信許可機能」、「登録番号発信スルー機能」は、レベル設定画面にて変更を行います。

●（グレー）表示の項目を変更しようとすると、変更できない旨のメッセージが表示されます。

7．7．3　本体装置から読み込んだ情報の操作

本体装置からパラメータ情報を読み込むと、画面右側に読み込んだ情報が表示されます。

パラメータ情報の読み込み方法は、10．データの読み込みと書き込みを参照してください。

No.	項目	設定値	単位	備考	設定値
1	ダブルダイヤル機能	ON	ON/OFF	変更できません	ON
2	短縮番号機能	OFF	ON/OFF		OFF
3	発信許可機能	OFF	ON/OFF		OFF
4	登録番号発信スルー機能	OFF	ON/OFF		OFF
5	DT検出機能	ON	ON/OFF		ON
6	第2DT検出機能	OFF	ON/OFF	変更できません	OFF
7	DT断検出機能	OFF	ON/OFF		OFF
8	FAX再発呼機能	ON	ON/OFF	変更できません	ON
9	発信ダイヤルチェック機能	ON	ON/OFF	変更できません	ON
10	1300Hz検出機能	OFF	ON/OFF	変更できません	OFF
11	カットスルー機能	OFF	ON/OFF		OFF
12	カットスルー番号	0000			0000
13	オンフック時間	2	00mSec		2
14	オフフック時間	1	00mSec		1
15	ダイヤル確定時間	35	00mSec		35
16	1300Hz検出時間	5	00mSec	変更できません	5
17	操作部入力待ち時間	30	Sec	変更できません	30
18	メンテナンス応答呼出時間	30	Sec		30
19	メンテナンス応答呼出回数	3	回		3
20	FAXダイヤル待ち時間	0	Sec		0

読み込んだ情報が表示される。

本体装置から読み込んだパラメータ情報と保存されている値が異なる場合は、読み込んだパラメータ情報が●（赤）で表示されます。

読み込んだパラメータ情報が、保存されている情報と同じ値の場合は、〇（白）で表示されます。

本体装置から読み込んだパラメータ情報を保存するには、下記のように操作します。

①読み込んだパラメータ情報で保存したい情報を選択します。

全ての情報を保存したい場合は、全ての項目を選択します。

②画面右にある「読込→設定」ボタンを押下します。

③選択した項目の中で、保存されている項目と異なる項目のみ、設定内容をコピーします。

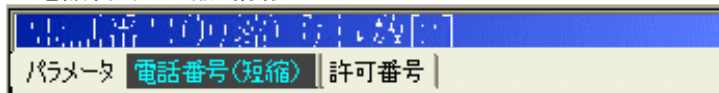
④値がコピーされると、該当の項目が編集された状態に変わります。

また、「保存」ボタンが強調表示に変わります。

⑤「保存」ボタンを押下します。

8. 電話番号(短縮)情報

電話番号(短縮)情報では、本体装置に登録する電話番号(短縮)情報を設定します。

8. 1　電話番号(短縮)情報

電話番号(短縮)情報を表示するには、[電話番号(短縮)]タブをクリックします。
端末選択画面で選択された端末情報に対応した電話番号(短縮)情報を表示します。
端末選択画面で端末が選択されていない場合、何も表示されません。
電話番号(短縮)は、最大1000件まで登録することができます。

電話番号(短縮)を変更する場合は、注意が必要です。
誤った番号を登録すると、FAX 送信が行えなくなります。
電話番号(短縮)情報を変更した後は、本体装置への書き込みを行う必要があります。
本体装置への書き込みを行わないと、本体装置側に変更内容が反映されません。

8. 2　表示項目

表示項目	内容
No.	表示番号です。 ○(白)は、通常の状態です。 ●(赤又は黄色)は、登録された情報が重複していることを表します。 ●(緑)は、編集されたことを表します。
登録名	項目の登録名を表示します。 登録名を16文字以内の半角文字(カナ、英、数)で登録すると、本体装置のディスプレイに登録文字を表示することができます。 漢字や全角文字は、本体装置では表示されません。
電話番号	32桁までの電話番号情報を表示します。
短縮番号	3桁の短縮番号情報を表示します。 短縮番号情報を設定していない場合は、空欄です。
備考	備考情報を表示します。

８．３ フローティングメニュー

電話番号（短縮）のリスト表示部にて、マウスの右ボタンをクリックするとメニューを表示します。

表示されるメニューでは、電話番号（短縮）情報の編集や読み込み値のコピーなどを行うことができます。

状態によって表示は異なります。

追加
編集
削除
コピー
貼り付け

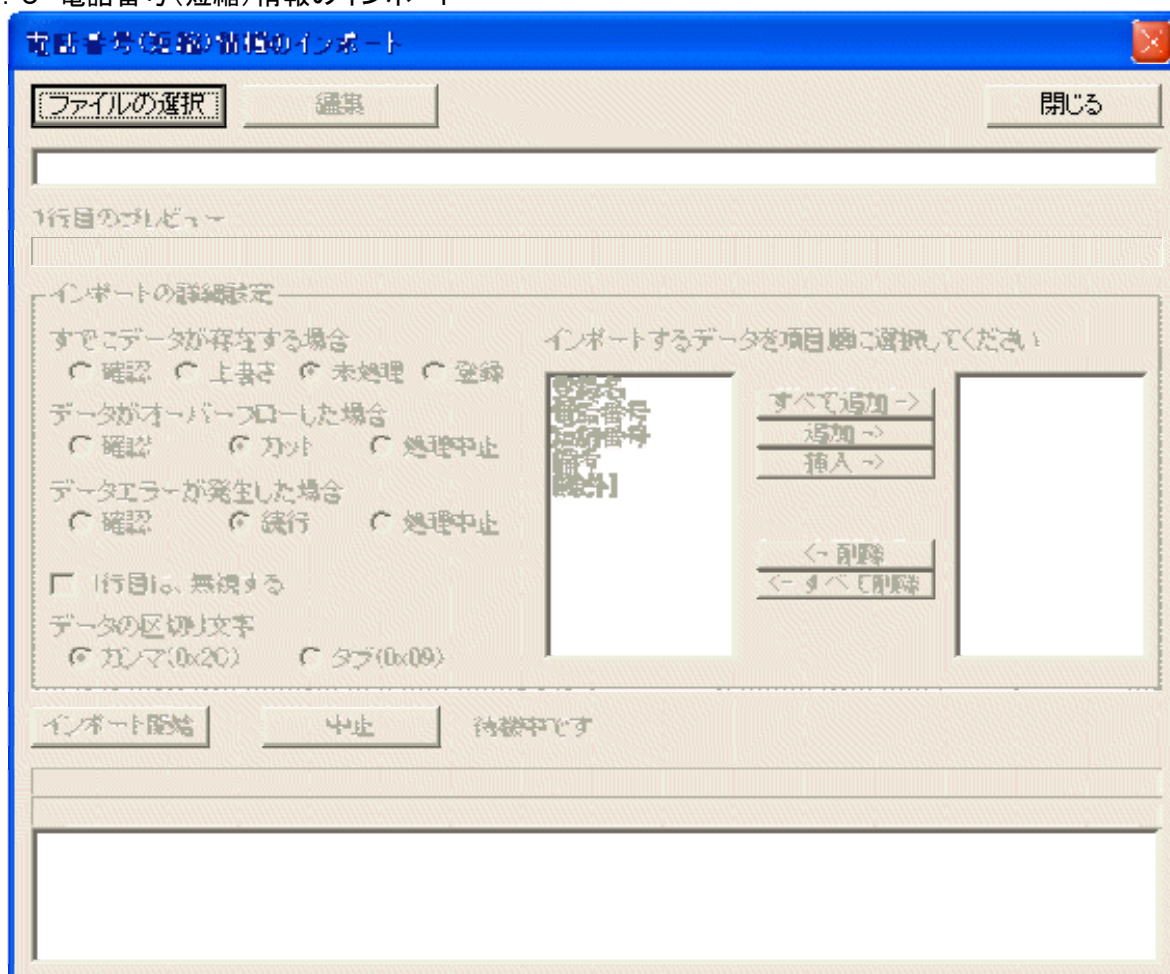
メニュー	内容
追加	電話番号（短縮）情報を新規に追加します。
編集	登録してある電話番号（短縮）情報を編集します。
削除	登録してある電話番号（短縮）情報を削除します。
コピー	電話番号（短縮）情報をコピーします。
貼り付け	コピーした電話番号（短縮）情報を貼り付けます。

８．４ メニューボタン

インポート エクスポート

以下の操作を行う場合に利用します。

項目	内容
インポート	ＣＳＶ（カンマ区切りテキスト）ファイルから電話番号（短縮）情報の読み込みを行います。 電話番号（短縮）情報のインポート画面が表示されます。
エクスポート	電話番号（短縮）情報をＣＳＶ（カンマ区切りテキスト）ファイルへ書き出しを行います。

8．５　電話番号（短縮）情報のインポート

メニューボタンのインポートボタンを押下すると表示されます。

インポートでは、電話番号（短縮）情報をCSVファイルから読み込んで登録することができます。

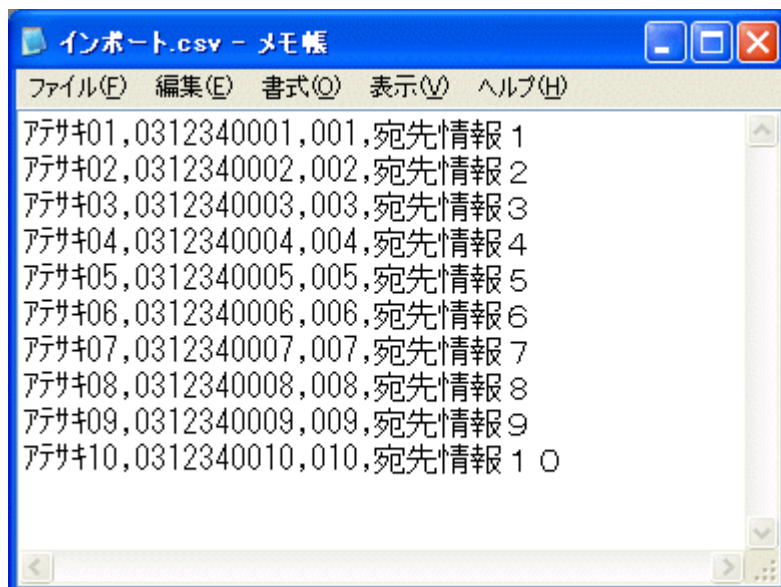
電話番号（短縮）情報は、最大で1000件まで登録することができます。

８．５．１ 表示項目

表示項目	内容	
ファイルの選択	読み込むCSVファイルを選択します。	
編集	読み込んだCSVファイルをテキストエディタで表示します。（編集が可能です。）	
閉じる	電話番号（短縮）情報のインポート画面を終了します。	
1行目のプレビュー	読み込んだCSVファイルの1行目を表示します。	
すでにデータが存在する場合	すでにデータが存在する場合（電話番号が重複した場合）の処理を選択します。	確認：常に確認画面で上書、スキップ、終了を選択します。
		上書き：常に上書きで処理を行います。
		未処理：常に処理を行わずスキップします。
		登録：常に登録で処理を行います。
データがオーバーフローした場合	読み込んだ対象データが、対象領域のサイズを超えていた場合の処理を選択します。	確認：常に確認画面でカット、スキップ、終了を選択します。
		カット：常に対象領域を超えた分のデータを切り詰めて登録します。
		処理中止：処理を中止します。
データエラーが発生した場合	読み込んだデータにエラーが発生した場合の処理を選択します。	確認：常に確認画面で続行、スキップ、終了を選択します。
		続行：常に処理を行わずスキップします。
		処理中止：処理を中止します。
1行目は無視する	チェックをつけるとCSVファイルの1行目を読み込みません。（スキップします。） CSVファイルの1行目にフィールド名などの案内情報がある場合に利用します。	
データの区切り文字	CSVファイルの区切り文字をカンマかタブから選択します。	
インポートするデータを項目順に選択してください	CSVファイルから読み込む項目の関連づけを行います。	登録名：登録名欄に登録する項目を選択します。
		電話番号：電話番号欄に登録する項目を選択します。
		短縮番号：短縮番号欄に登録する項目を選択します。
		備考：備考欄に登録する項目を選択します。
		［除外］：読み込まない項目を選択します。
インポート開始	インポートを開始します。	
中止	インポートを中止します。	
処理内容	処理内容を表示します。	

8．5．2　インポート手順

インポートでは、電話番号（短縮）情報（CSVファイル）内の情報を本アプリケーションで利用しているデータ形式に変換し保存します。

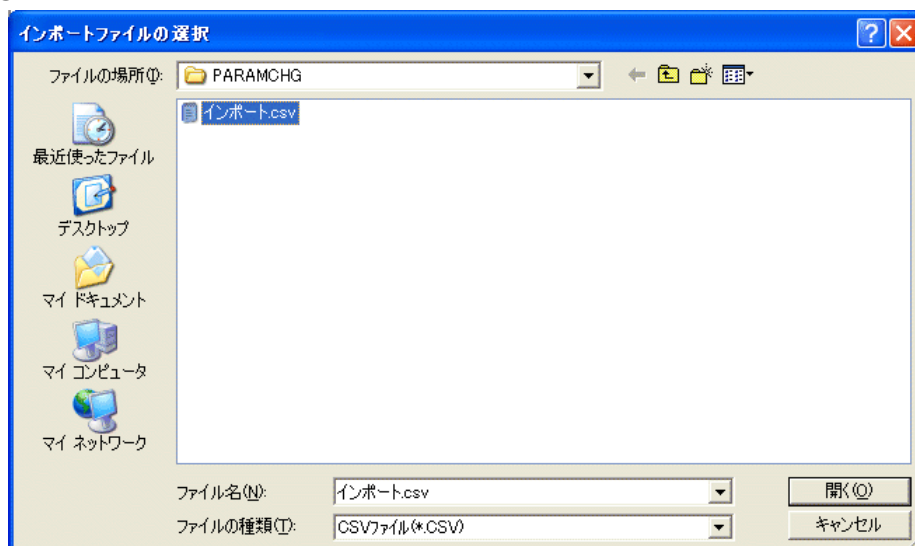
それによって、他で利用している情報を本アプリケーションでも利用することができます。

CSVファイルを「メモ帳」で開いている状態です。

※電話番号（短縮）情報（CSVファイル）の作成方法によって1行目のプレビューに表示される内容は異なります。

※電話番号（短縮）情報（CSVファイル）のプレビュー内容を確認して作業を行うようにしてください。

※マイクロソフトEXCELにてCSVファイルを作成した場合に、電話番号情報の先頭の“0”が付与されない場合があります。このような場合には、マイクロソフトEXCELの該当フィールドの設定を文字列に変更後CSVファイルの作成を行うようにしてください。

①　ファイルの選択　ボタンをクリックします。

②ファイルを選択する画面が表示されます。

③ファイルを選択して[開く］ボタンをクリックします。

④ファイルを開くとファイル名と1行目のプレビューが表示されます。

⑤インポートの詳細を設定します。

各項目を読み込む内容に合わせて設定します。

⑥インポートの項目を設定します。

インポート項目を選択するときは、1行目のプレビューを参照しながら選択します。

選択した項目例（左側のリスト）

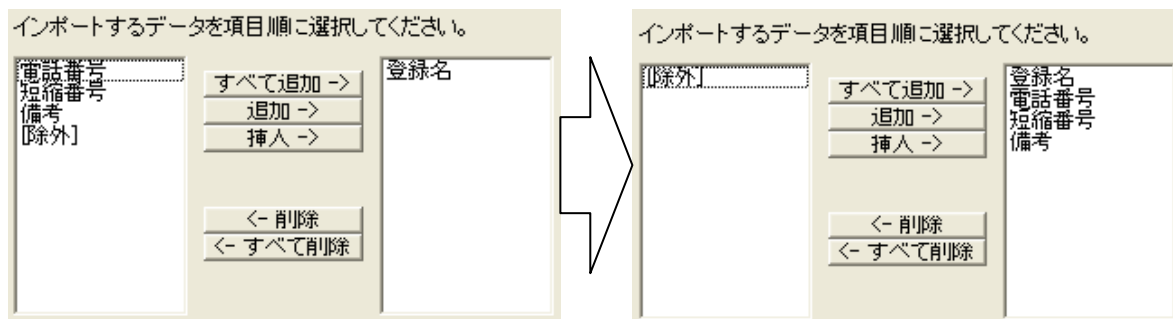
※インポートを行う場合、登録名と電話番号は、必須項目です。

⑥ー１　読み込んだ電話番号（短縮）情報（CSVファイル）のプレビューで1つ目の項目を確認します。

⑥－２　これは、本アプリケーションの登録名に該当するので、左側リスト内の「登録名」を選択し、

追加 -> ボタンをクリックします。

登録名、電話番号は、必須項目です。

⑥－３　右側リストに「登録名」が移動します。

同じ手順で他の項目も選択し、左側のリストへ追加していきます。

⑥－４　１行目のプレビューにある項目を全て左側のリストに移動します。

⑦インポートの項目の設定が完了したら、 インポート開始 ボタンをクリックします。

⑧インポートが開始されます。

⑨インポートが終了すると、結果が表示されます。

図の場合は、１０件を処理し、１０件の登録が完了したことを表します。

⑩終了するときは、 閉じる ボタンをクリックします。

⑪電話番号（短縮）情報（CSVファイル）のインポート画面が終了し、インポートした内容が電話番号（短縮）画面に表示されます。

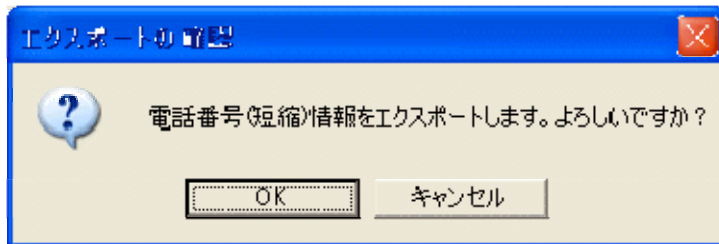
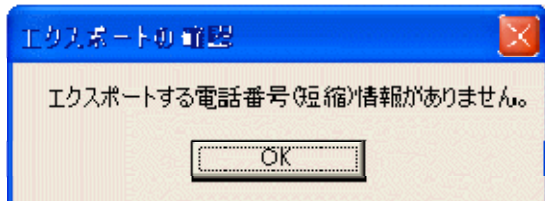
No.	登録名	電話番号	短縮番号	備考
◯1	ｱﾃｻｷ01	0312340001	001	宛先情報1
◯2	ｱﾃｻｷ02	0312340002	002	宛先情報2
◯3	ｱﾃｻｷ03	0312340003	003	宛先情報3
◯4	ｱﾃｻｷ04	0312340004	004	宛先情報4
◯5	ｱﾃｻｷ05	0312340005	005	宛先情報5
◯6	ｱﾃｻｷ06	0312340006	006	宛先情報6
◯7	ｱﾃｻｷ07	0312340007	007	宛先情報7
◯8	ｱﾃｻｷ08	0312340008	008	宛先情報8
◯9	ｱﾃｻｷ09	0312340009	009	宛先情報9
◯10	ｱﾃｻｷ10	0312340010	010	宛先情報10

8．6　電話番号（短縮）情報のエクスポート

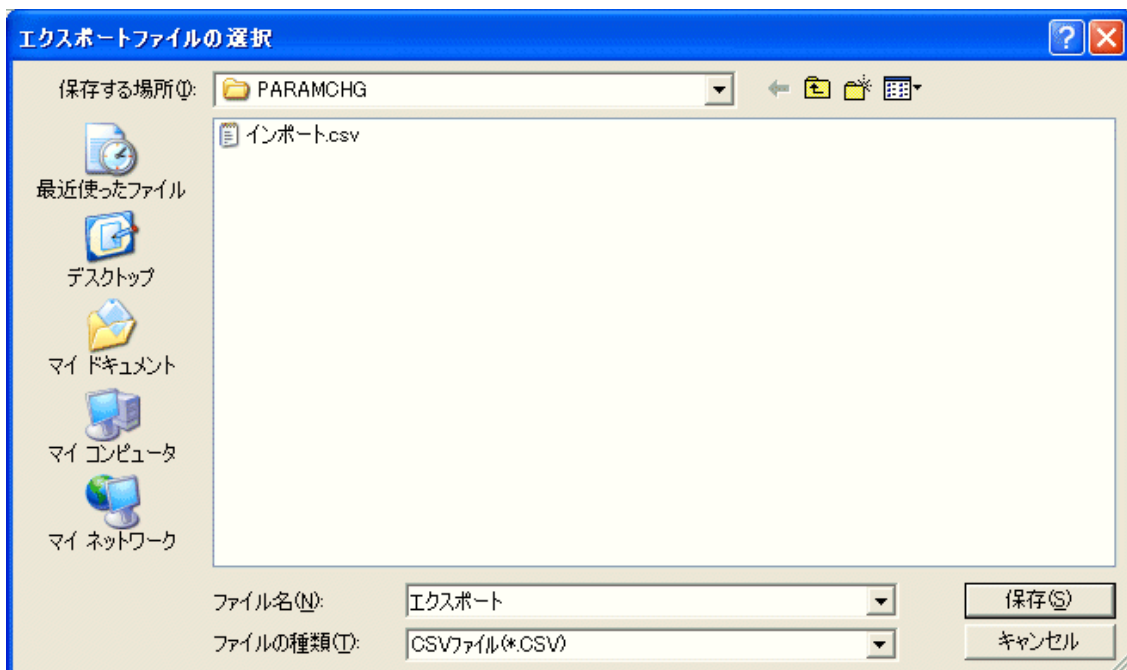
登録されている電話番号（短縮）情報（登録名、電話番号、短縮番号、備考）をCSVファイルに書き出します。

エクスポート手順

① エクスポート   ボタンを押下します。

②確認ダイアログが表示されます。

エクスポートするデータがない場合は、ダイアログが表示されます。

③OKボタンをクリックします。

　エクスポートを行わない場合は、キャンセルをクリックします。

④保存するファイル名を選択するダイアログが表示されます。

⑤保存するファイルを入力し、保存ボタンをクリックします。

⑥指定したファイルに番号テーブルが保存されます。

エクスポートしたファイルを「メモ帳」で開いている状態です。

８．７　電話番号（短縮）情報の追加、編集、削除

８．７．１　追加する

インポート以外でも電話番号（短縮）情報を追加することができます。

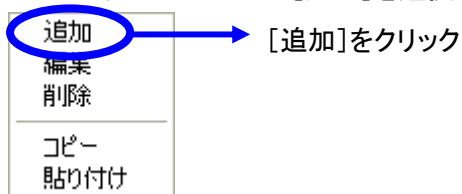
最大で１０００件まで登録することができます。

新しい電話番号（短縮）を追加するには、下記のように操作します。

電話番号（短縮）情報を追加するには、２通りの方法があります。

８．７．１．１　メニューから追加する

①電話番号（短縮）情報のリスト表示部にてマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

②フローティングメニューの［追加］を選択します。

③電話番号（短縮）追加画面が表示されます。

④登録名、電話番号、短縮番号、備考を入力します。 登録名と電話番号は必須項目です。

登録名は、半角文字で16字まで入力できます。（半角カナ、英数で入力してください。）

電話番号は、半角数字で32字まで入力できます。

短縮番号は、半角数字3字固定です。

備考は、全角文字25字まで入力できます。

⑤[OK]ボタンを押下すると、入力内容を保存し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、追加は行われません。

8．7．1．2 マウス操作で追加する

①電話番号（短縮）情報のリスト表示部にて項目が**選択されていない状態**でマウスの右ボタンをダブルクリックします。

②フローティングメニューの[追加]を選択します。

③電話番号（短縮）追加画面が表示されます。

④登録名、電話番号、短縮番号、備考を入力します。 ※登録名と電話番号は必須項目です。

⑤[OK]ボタンを押下すると、入力内容を保存し画面が閉じます。

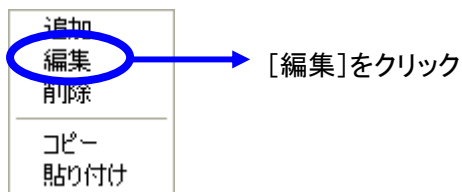
[キャンセル]ボタンを押下すると、追加は行われません。

8．7．2 編集する

既に登録してある電話番号（短縮）を編集するには、下記のように操作します。

電話番号（短縮）情報を編集するには、2通りの方法があります。

8．7．2．1 メニューから編集する

①電話番号（短縮）情報のリスト表示部にて**編集する項目を選択した状態**でマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

②フローティングメニューの[編集]を選択します。

③電話番号（短縮）編集画面が表示されます。

各項目には、選択した項目の情報が表示されています。

④各項目を編集します。

⑤[OK]ボタンを押下すると、編集内容を保存し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、編集結果は反映されません。

8．7．2．2　マウス操作で編集する

①電話番号（短縮）情報のリスト表示部にて項目が**<u>編集する項目</u>**をマウスの右ボタンでダブルクリックします。

②電話番号（短縮）編集画面が表示されます。

③各項目を編集します。

④[OK]ボタンを押下すると、編集内容を保存し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、編集結果は反映されません。

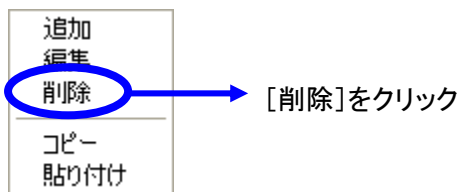
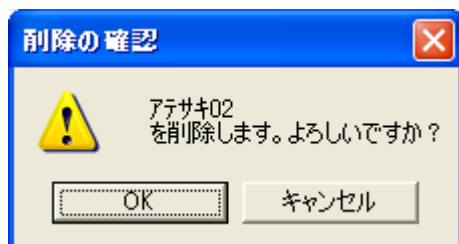
8．7．3　削除する

既に登録してある項目を削除するには、下記のように操作します。

電話番号（短縮）情報を削除するには、2通りの方法があります。

8．7．3．1　メニューから削除する

①電話番号（短縮）情報画面内のリスト表示部にて**<u>削除する項目を選択した状態</u>**でマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

②フローティングメニューの[削除]を選択します。

③削除確認画面が表示されます。

④[OK]ボタンを押下すると、項目を削除し画面が閉じます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、項目は削除されません。

８．７．３．２　キーボードの[DEL]キーで削除する

①電話番号（短縮）情報画面内のリスト表示部にて**削除する項目**をマウスで選択します。

②キーボードの[DEL]キーを押下します。

③削除確認画面が表示されます。

④[OK]ボタンを押下すると、項目を削除し画面が閉じます。

　[キャンセル]ボタンを押下すると、項目は削除されません。

８．８　電話番号（短縮）情報のコピーと貼り付け

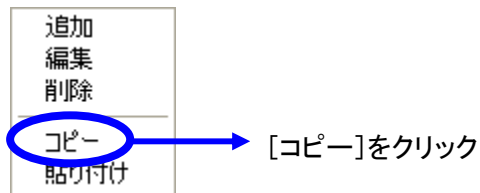
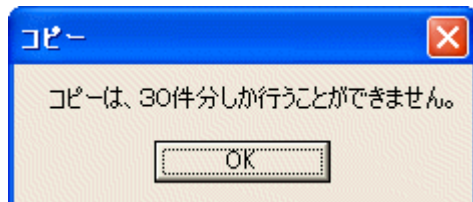
電話番号（短縮）情報をコピーして貼り付けることができます。

短縮番号は、重複を避けるためコピーされません。コピーされるのは、「登録名」、「電話番号」、「備考」の３項目です。

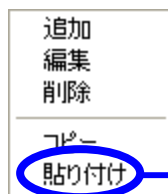
コピー及び貼り付けは同時に30件まで行うことができます。

８．８．１　コピー

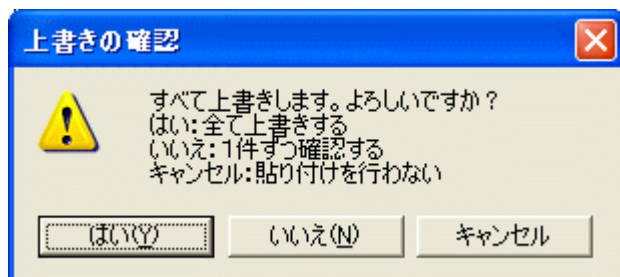
①電話番号（短縮）情報画面内のリスト表示部にて**コピーする項目を選択した状態**でマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

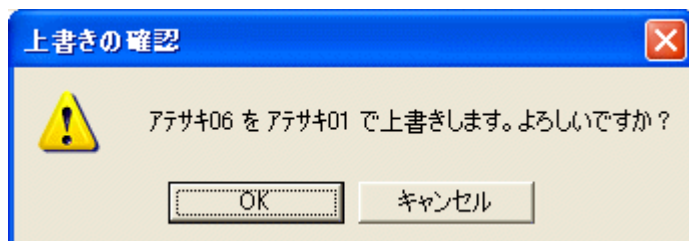
②フローティングメニューの[コピー]を選択します。

30件以上を選択してコピーを行うとエラーメッセージが表示されます。

8．8．2　貼り付け

①電話番号（短縮）情報画面内のリスト表示部にて<u>貼り付ける位置を選択した状態</u>でマウスの右ボタンをクリックし、フローティングメニューを表示します。

②フローティングメニューの[貼り付け]を選択します。

新しい位置へ貼り付ける場合は、新たに項目が追加されます。

No.	登録名	電話番号	短縮番号	備考
1	ｱﾃｻｷ01	0312340001	001	宛先情報1
2	ｱﾃｻｷ02	0312340002	002	宛先情報2
3	ｱﾃｻｷ03	0312340003	003	宛先情報3
4	ｱﾃｻｷ04	0312340004	004	宛先情報4
5	ｱﾃｻｷ05	0312340005	005	宛先情報5
6	ｱﾃｻｷ06	0312340006	006	宛先情報6
7	ｱﾃｻｷ07	0312340007	007	宛先情報7
8	ｱﾃｻｷ08	0312340008	008	宛先情報8
9	ｱﾃｻｷ09	0312340009	009	宛先情報9
10	ｱﾃｻｷ10	0312340010	010	宛先情報10
11	ｱﾃｻｷ01	0312340001		宛先情報1
12	ｱﾃｻｷ02	0312340002		宛先情報2
13	ｱﾃｻｷ03	0312340003		宛先情報3
14	ｱﾃｻｷ04	0312340004		宛先情報4
15	ｱﾃｻｷ05	0312340005		宛先情報5

すでに情報が登録されているところを選択すると、上書き確認画面が表示されます。

「はい」を選択すると、確認無しですべてを上書きします。

「いいえ」を選択すると、１件ずつ確認を行いながら上書きをしていきます。

「キャンセル」を選択すると、貼り付けを中断します。

③[OK]ボタンを押下すると、上書きコピーを行います。

[キャンセル]ボタンを押下すると、貼り付けは行われません。

No.	登録名	電話番号	短縮番号	備考
○1	ｱﾃｻｷ01	0312340001	001	宛先情報1
○2	ｱﾃｻｷ02	0312340002	002	宛先情報2
○3	ｱﾃｻｷ03	0312340003	003	宛先情報3
○4	ｱﾃｻｷ04	0312340004	004	宛先情報4
○5	ｱﾃｻｷ05	0312340005	005	宛先情報5
●6	ｱﾃｻｷ01	0312340001	006	宛先情報1
●7	ｱﾃｻｷ02	0312340002	007	宛先情報2
●8	ｱﾃｻｷ03	0312340003	008	宛先情報3
●9	ｱﾃｻｷ04	0312340004	009	宛先情報4
●10	ｱﾃｻｷ05	0312340005	010	宛先情報5

8．9　本体装置から読み込んだ情報の操作

本体装置から電話番号（短縮）情報を読み込むと、画面右側に読み込んだ情報が表示されます。

電話番号（短縮）情報の読み込み方法は、10．データの読み込みと書き込みを参照してください。

No.	登録名	電話番号	短縮番号	備考	登録名	電話番号
○1	ｱﾃｻｷ01	0312340001	001	宛先情報1	○ｱﾃｻｷ01	031234000
○2	ｱﾃｻｷ02	0312340002	002	宛先情報2	○ｱﾃｻｷ02	031234000
○3	ｱﾃｻｷ03	0312340003	003	宛先情報3	○ｱﾃｻｷ03	031234000
○4	ｱﾃｻｷ04	0312340004	004	宛先情報4	○ｱﾃｻｷ04	031234000
○5	ｱﾃｻｷ05	0312340005	005	宛先情報5	○ｱﾃｻｷ05	031234000
○6	ｱﾃｻｷ06	0312340006	006	宛先情報6	○ｱﾃｻｷ06	031234000
○7	ｱﾃｻｷ07	0312340007	007	宛先情報7	○ｱﾃｻｷ07	031234000
○8	ｱﾃｻｷ08	0312340008	008	宛先情報8	○ｱﾃｻｷ08	031234000
○9	ｱﾃｻｷ09	0312340009	009	宛先情報9	○ｱﾃｻｷ09	031234000
○10	ｱﾃｻｷ10	0312340010	010	宛先情報10	○ｱﾃｻｷ10	031234001

本体装置から読み込んだ電話番号（短縮）情報と保存されている値が異なる場合は、読み込んだ電話番号（短縮）情報に●（赤）が表示されます。

読み込んだ電話番号（短縮）情報が、保存されている情報と同じ値の場合は、○（白）が表示されます。

No.	登録名	電話番号	短縮番号	備考	登録名	電話番号
○1	ｱﾃｻｷ01	0312340001	001	宛先情報1	○ｱﾃｻｷ01	031234000
○2	ｱﾃｻｷ22	0312340022	002	宛先情報2	●ｱﾃｻｷ02	031234000
○3	ｱﾃｻｷ03	0312340003	003	宛先情報3	○ｱﾃｻｷ03	031234000
○4	ｱﾃｻｷ04	0312340004	004	宛先情報4	○ｱﾃｻｷ04	031234000
○5	ｱﾃｻｷ05	0312340005	005	宛先情報5	○ｱﾃｻｷ05	031234000
○6	ｱﾃｻｷ06	0312340006	006	宛先情報6	○ｱﾃｻｷ06	031234000
○7	ｱﾃｻｷ07	0312340007	007	宛先情報7	○ｱﾃｻｷ07	031234000
○8	ｱﾃｻｷ08	0312340008	008	宛先情報8	○ｱﾃｻｷ08	031234000
○9	ｱﾃｻｷ09	0312340009	009	宛先情報9	○ｱﾃｻｷ09	031234000
○10	ｱﾃｻｷ10	0312340010	010	宛先情報10	○ｱﾃｻｷ10	031234001

本体装置から読み込んだ電話番号(短縮)情報を保存するには、下記のように操作します。

①読み込んだ電話番号(短縮)情報で保存したい情報を選択します。

全ての情報を保存したい場合は、全ての項目を選択します。

登録名	電話番号
アテサキ01	031234000
アテサキ02	031234000
アテサキ03	031234000
アテサキ04	031234000
アテサキ05	031234000
アテサキ06	031234000
アテサキ07	031234000
アテサキ08	031234000
アテサキ09	031234000
アテサキ10	031234001

登録名	電話番号
アテサキ01	031234000
アテサキ02	031234000
アテサキ03	031234000
アテサキ04	031234000
アテサキ05	031234000
アテサキ06	031234000
アテサキ07	031234000
アテサキ08	031234000
アテサキ09	031234000
アテサキ10	031234001

②画面右にある「読込→設定」ボタンを押下します。

端末設定値　読込→設定

③選択した項目の中で、保存されている項目と異なる項目のみ、設定内容をコピーします。

④値がコピーされると、該当の項目が編集された状態に変わります。

No.	登録名	電話番号	短縮番号	備考
1	アテサキ01	0312340001	001	宛先情報1
2	アテサキ02	0312340002	002	宛先情報2
3	アテサキ03	0312340003	003	宛先情報3

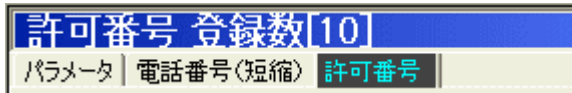
登録名	電話番号
アテサキ01	031234000
アテサキ02	031234000
アテサキ03	031234000

9. 許可番号情報

許可番号情報では、本体装置に登録する許可番号を設定します。

9. 1　許可番号情報

許可番号 登録数[10]

パラメータ　電話番号(短縮)　許可番号

許可番号情報を表示するには、[許可番号]タブをクリックします。

端末選択画面で選択された端末情報に対応した許可番号情報を表示します。

端末選択画面で端末が選択されていない場合、何も表示されません。

許可番号情報は、最大10件まで登録することができます。

許可番号情報を変更する場合は、注意が必要です。

誤った番号を登録すると、FAX 送信が行えなくなります。

許可番号情報を変更した後は、本体装置への書き込みを行う必要があります。

本体装置への書き込みを行わないと、本体装置側に変更内容が反映されません。

9. 2　表示項目

表示項目	内容
No.	表示番号です。 ○(白)は、通常の状態です。 ●(赤又は黄色)は、登録された情報が重複していることを表します。 ●(緑)は、編集されたことを表します。
登録名	項目の登録名を表示します。 登録名を16文字以内の半角文字(カナ、英、数)で登録します。
電話番号	32桁までの電話番号情報を表示します。
備考	全角文字25字までの備考情報を表示します。 (この情報は本体装置には書き込まれません。)

9. 3　フローティングメニュー

フローティングメニューのインポートについては、8. 3　フローティングメニューを参照してください。

9. 4　メニューボタン

許可番号情報のインポートについては、8. 4　メニューボタンを参照してください。

9. 5　許可番号情報のインポート

許可番号情報は、最大で10件まで登録することができます。

許可番号情報のインポートについては、8. 5　電話番号(短縮)情報のインポートを参照してください。

一部項目に違いがありますが、方法は同じです。

９．６　許可番号情報のエクスポート

許可番号情報のエクスポートについては、８．６　電話番号（短縮）情報のエクスポートを参照してください。

一部項目に違いがありますが、方法は同じです。

９．７　許可番号情報の追加、編集、削除

最大で10件まで登録することができます。

許可番号情報の許可番号情報の追加、編集、削除については、８．７　許可番号情報の追加、編集、削除を参照してください。

一部項目に違いがありますが、方法は同じです。

９．８　許可番号情報のコピーと貼り付け

許可番号情報のコピーと貼り付けについては、８．７　許可番号情報のコピーと貼り付けを参照してください。

一部項目に違いがありますが、方法は同じです。

９．９　本体装置から読み込んだ情報の操作

本体装置から読み込んだ情報の操作については、８．９　本体装置から読み込んだ情報の操作を参照してください。

一部項目に違いがありますが、方法は同じです。

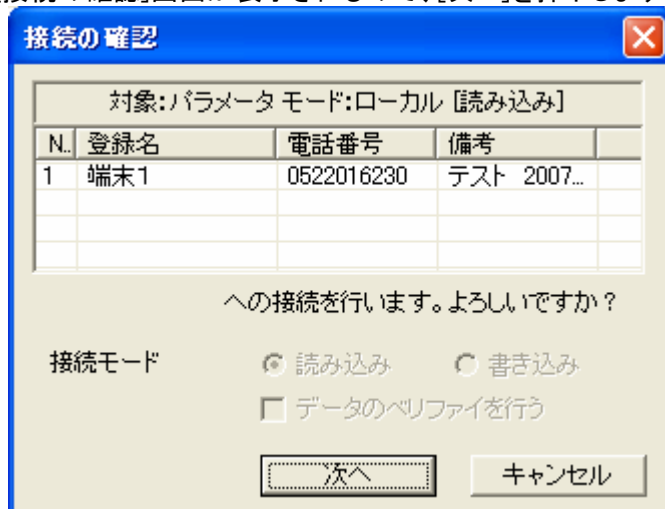
10. データの読み込みと書き込み

10. 1　本体装置によるデータ件数について

ダブルダイヤルは、機種によってパラメータ内容や番号テーブル件数が異なります。

装置名	パラメータ数	電話番号（短縮）	許可番号
ダブルダイヤル	18個	300件	なし
ダブルダイヤル64	20個	300件	なし
ダブルダイヤル512	20個	1，000件	なし
ダブルダイヤルX	20個	1，000件	10件

10. 2　情報の読み込み

①読み込みを行う端末情報を選択し、ツールバーの アイコンをクリックします。

パラメータ情報を読み込む場合は、 アイコンをクリックします。

電話番号（短縮）情報を読み込む場合は、 アイコンをクリックします。

許可番号情報を読み込む場合は、 アイコンをクリックします。

バージョン情報を読み込む場合は、 アイコンをクリックします。

②[接続の確認]画面が表示されるので、[次へ]を押下します。

③[接続ステータス]が表示されます。処理が終了するまでしばらくお待ちください。
詳細ボタンを押すと通信の詳細を表示することができます。

接続ステータス:読み込み
全体の行程
個別の行程
詳細 >>
中止

④読み込みが終了します。閉じるボタンを押すと画面が閉じます。

バージョン情報を読み込むとバージョン情報が表示されます。

⑤パラメータ設定及び番号テーブル設定画面に読み込まれた内容が表示されます。

本体装置から読み込んだ情報は、表示画面左側に登場する画面内に表示されます。

同時に表示される[読込→設定]ボタンは、本体装置より読み込んだ井情報を現在設定にコピーする場合に利用します。

●（赤）表示の項目は、現在設定されている値と本体装置から読み出した値に違いがある時に表示されます。

読み込んだ値を反映させるときは、該当の項目を選択し、[読込→設定]ボタンを押下します。

◆パラメータ

パラメータ

パラメータ | 電話番号(短縮) | 許可番号

デフォルト　保存　モード設定　　端末設定値　読込→設定

No.	項目	設定値	単位	備考	設定値
1	ダブルダイヤル機能	ON	ON/OFF	変更できません	ON
2	短縮番号機能	OFF	ON/OFF		OFF
3	発信許可機能	OFF	ON/OFF		OFF
4	登録番号発信スルー機能	OFF	ON/OFF		OFF
5	DT検出機能	ON	ON/OFF		ON
6	第2DT検出機能	OFF	ON/OFF	変更できません	OFF
7	DT詳細検出機能	OFF	ON/OFF		OFF
8	FAX再発呼機能	ON	ON/OFF	変更できません	ON
9	発信ダイヤルチェック機能	ON	ON/OFF	変更できません	ON
10	1300Hz検出機能	OFF	ON/OFF	変更できません	OFF
11	カットスルー機能	OFF	ON/OFF		OFF
12	カットスルー特番	0000			0000
13	オンフック時間	2	00mSec		2
14	オフフック時間	1	00mSec		1
15	ダイヤル確定時間	35	00mSec		35
16	1300Hz検出時間	5	00mSec	変更できません	5
17	操作部入力待ち時間	30	Sec	変更できません	30
18	メンテナンス応答呼び時間	30	Sec		30
19	メンテナンス応答呼び回数	3	回		3
20	FAXダイヤル待ち時間	0	Sec		0

◆電話番号（短縮）

電話番号(短縮) 登録数[20]

パラメータ | 電話番号(短縮) | 許可番号

インポート　エクスポート　　端末設定値　読込→設定

No.	登録名	電話番号	短縮番号	備考	登録名	電話番号
1	トウロク001	0312340001	001		トウロク001	031234000
2	トウロク0022	0312340022	002		トウロク002	031234000
3	トウロク003	0312340003	003		トウロク003	031234000
4	トウロク004	0312340004	004		トウロク004	031234000

◆許可番号

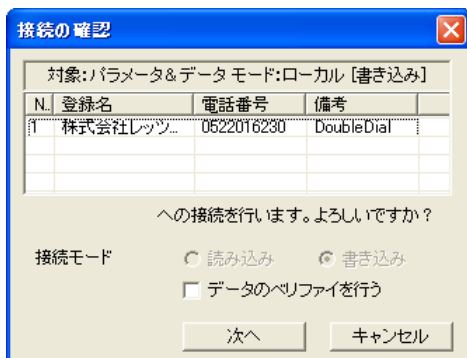
許可番号 登録数[10]

パラメータ | 電話番号(短縮) | 許可番号

インポート　エクスポート　　端末設定値　読込→設定

No.	登録名	許可番号	備考	登録名	許可電
1	キョカ 001	0312340001	許可番号001	キョカ 001	031234
2	キョカ 002	0312340002	許可番号002	キョカ 002	031234

10．3　情報の書き込み

①書き込みを行う端末情報を選択し、ツールバーの アイコンをクリックします。

パラメータ情報のみを書き込む場合は、 アイコンをクリックします。

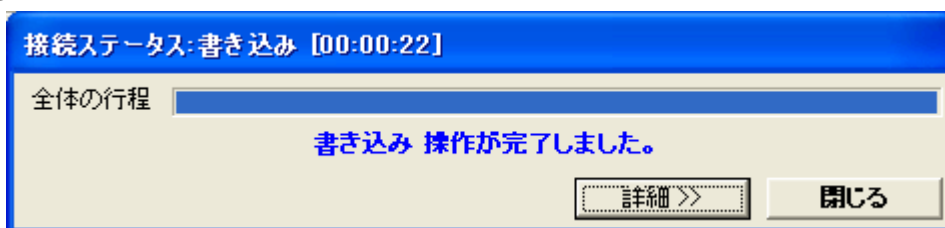
電話番号（短縮）情報のみを書き込む場合は、 アイコンをクリックします。

許可番号情報のみを書き込む場合は、 アイコンをクリックします。

②[接続の確認]画面が表示されるので、[次へ]を押下します。

[データのベリファイを行う]にチェックをつけると、書き込み後に読み込みを行い書き込み内容のチェックを行うことができます。

③[接続ステータス]が表示されます。処理が終了するまでしばらくお待ちください。

詳細ボタンを押すと通信の詳細を表示することができます。

④書き込みが終了します。閉じるボタンを押すと画面が閉じます。

１１．動作環境

OS	Microsoft Windows　Vista／XP／2000
CPU	Pentium3　500MHz　以上
RAM	256MB以上
HDD	10MB未満（アプリケーションが利用する領域）

１２．お問い合わせ先

本製品に関するお問い合わせは、ご購入店または、下記までお願いいたします。

株式会社　レッツ・コーポレーション		
電話	０５２－２０１－６２３０	月曜日～金曜日（土日祝日を除く）９：１０～１８：００
FAX	０５２－２０１－５０５０	
電子メール	info@lets-co.co.jp	

改良、改善などのため予告なく仕様及びその他の変更を行う場合があります。
あらかじめご了承ください。